

ひろしまの力

新たな可能性を見出す 企業コラボ

シリーズ座談会②

シリーズ第2弾は、国産デニムの一大産地として名を馳せる福山の企業コラボ事例をご紹介します。地域の繊維関連企業8社が参画するHITOTOITO（繊維産地継承プロジェクト委員会）の取り組みについて語っていただきます。

繊維のまちが誇る縫製技術を 次世代に継承するために



この日HITOTOITOの事務所集まってきたのは、プロジェクトメンバー8社のうち6社8名。産地を盛り上げるためには何をすべきか、年齢や立場を超えて自由闊達に意見を交わしながら仕事の合間を縫ってボランティアで取り組みを進めてきた。



備後絨の染色や織布技術
を応用した福山市のデニム生産量は日本一。その技術とクオリティは国内外の一流ブランドからも高く評価されている。



デニムスクール専用スペース。

世界屈指のデニムメーカー・カイハラ
の「貝原歴史資料館」で、備後絨の技術
や絨からデニムの変遷など産地の歴史
を学ぶほか、藍染め体験も。

副委員長の
マルカ(株)
代表取締役
後藤和弘さん

(株)エヌ・ディ・エス
代表取締役
中山貴史さん

(株)C2
代表取締役社長
安原弘弘さん

副委員長の
(株)ディスカバーリンクせとうち
黒木美佳さん

(有)ヤングメンズ
藤本真弥さん

「ライブル企業なのに、皆さんオー
プンマインドで一致協力して
活動を展開している。業界的
に珍しい事例では」と
東京の企業から関ディ
スカパーリンクせとうち
に出向中の前田さん。

「備後のデニムづくりは
興味深い」とフランスか
らの受講生・アレクシ
さん。

新しい出会いや繋がりが 地域に活力を生む

— 取り組みの手ごたえは —
黒木 メディアに取り上げても
らったり、SNSや口コミで県内
だけでなく千葉、福井、京都、高
知など遠方からも受講生が集まっ
ています。隣のアレクシーはデ
ニムオタクが高じ、フランスか
ら学びに来た卒業生の一人です。
中山 4年間で120人余りの卒
業生のうち、この福山北部地域で
就業した人が約1割。自分でプラ
ンドを立ち上げた人や、地元へ戻
り繊維関連の事業で起業した人も
います。繁忙期には手伝いをお願い
することもあり、卒業しても繋
がりも切れていません。
藤本 国内外にちがっても縁が
続いているのは、本当にすごい。
情報発信の仕方を工夫しながら、
まずは多くの方に知ってもらい、
業界に興味を持ってもらうこと
が今後の人材育成にも繋がって
いくと思います。

備後の繊維関連企業が “人と糸を育てる” プロジェクトを展開



「福山市北部は紡績、製織、裁断、縫製、染色、
加工など、服を仕立てる全工程の専門工場が
集積した全国でも珍しい地域なんです」と委員
長の加富屋(株)代表取締役 後藤和弘さん。

産地として生き残るために デニムスクールを開講

— プロジェクトの目的は —
後藤委員長 備後の繊維産地は江
戸時代の綿花栽培から始まり、日
本三大絨に数えられる備後絨の考
案により大きく発展。さらに今日
ではデニムやカジュアルウェアな
どの生産へと変遷してきた歴史が
あります。一方で日本の繊維業界
はコストの安い海外生産移転が進
み、国内製造を続けてきた企業も
人手不足で外国人技能実習生に頼
らざるを得ないのが現状です。こ
のままでは熟練の技術やこだわり
を次世代に継承することができな
い。産地として生き残るために、
人材育成を今やらなければ—と

地域の縫製工場の方々にプレゼン
し、賛同を得た8社でプロジェク
トを立ち上げたわけです。
— 活動内容を教えてください —
後藤 2019年からデニムス
クールの開講し、その運営を主に
行っています。初級コースは10日
間で専門知識や縫製技術を学び、
卒業制作としてデニムパンツを1
本縫い上げるプログラムになって
おり、ミシンを触ったことのない
方も丁寧な一から教えます。そ
の他にもワークシヨップやイベン
トの開催、アパレル企業などの研
修等も手掛けています。
安原 デニムスクールでは、生地
を織り上げる工程から染色・加工・
洗いなど地域にある様々な専門工
場を見学する日を設けています。
うちは生地を仕入れて製品にする
会社なので受講生と一緒に巡って
初めて見る工程も多く、私自身と
ても勉強になっています。

関連企業が力を合わせて 産地を盛り上げたい

— 今後の展望を教えてください —
中山 繊維産地はかつて日本の基
幹産業でしたが、今や衣類の国内
製造はわずか2%。全国にあった
繊維産地はほとんど減少してお
り、このエリアの工場も最盛期に
比べるとかなり減少しました。私
たち縫製業だけでなく、関連する
企業全てが存続できなければ意味
がないですから、取り組みの輪を
広げ「産地」として生き残る方法を
みんなで考えていきたいですね。
後藤 この地域は備後絨の生産か
ら分業体制が根付いたことで各分
野の専門技術が磨かれ、今日まで
連続と受け継がれてきました。日
本が誇る技術を有しているとして
国の繊維産地特区のような形が認
められ、産地継承のモデルケース
になることが目標です。
後藤委員長 かつては地域内でも
互いに手の内は見せない空気が
あったようですが、ヒトトイトの
活動を通じて地域の横のつながり
が活性化し、縁の下の力持的な
業界の仕事にスポットが当てられ
たのも成果の一つ。相乗効果で自
社の強みをさらに磨いていこうと
いう雰囲気になっていっていると
感じます。企業同士が今のような関係を
維持し、様々な形で協力しあって
日本一の産地を目指していきます。

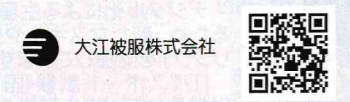
Project Team

有限会社MILL CREATE
福山市新市町戸手1030-4
☎ 0847-51-5373



パターン作成、サンプル縫製などを事
業の柱とし、布帛素材の幅広いアイテ
ムOEM商品も手がける。

**大江被服株式会社 /
株式会社スカイコーポレーション**
福山市神辺町川北1054-2
☎ 084-963-3339



デニム素材や布帛全般を用いたカジュ
アルウェアのOEMメーカー。スカイ
コーポレーションはブルゾンを製造。

株式会社C2(旧弘文株式会社)
福山市芦田町向陽台2000-147
☎ 084-958-4330



オーダーメイドのワーキングウェアや
ユニフォーム、デニム製品、雑貨等を
製造するアパレルメーカー。

株式会社エヌ・ディ・エス
福山市駅家町倉光409
☎ 084-976-0747



カジュアルジャケットやボトムス、
シャツ、トートバッグなどの縫製を手
がけ、有名ブランドからの受注も多い。

株式会社ディスカバーリンクせとうち
福山市新市町戸手105-2
☎ 0847-54-1388



尾道・福山・鞆の浦のエリアを中心に地
元の魅力や産業を軸に、せとうちの未
来を育てる事業を展開中。

有限会社ヤングメンズ
福山市新市町新市953-9
☎ 0847-52-3550



カジュアルウェアのコートやジャケッ
ト類を得意とする縫製工場で、その品
質の高さには定評がある。

マルカ株式会社
福山市新市町相方680-2
☎ 0847-52-3355



備後絨の織元として創業し、縫製業へ
移行。OEM生産のほか、ユニバーサル
シャツの自社ブランドも展開。

加富屋株式会社
福山市新市町相方470
☎ 0847-52-3555



メンズ・レディースウェアのトップ
メーカーとして、主に有名アパレルな
どのOEM商品を手がける。